

8月は、日本の私たちにとって平和について考えさせられるときです。

広島を訪れた、教皇フランシスコが平和のための集いで語られた
最後の言葉を思い起こし、平和への願いを新たにしましょう。

神に向け、すべての善意の人に向けて、一つの願いとして原爆と核実験とあらゆる紛争のすべての犠牲者の名によって、心からの声を合わせて叫びましょう。戦争は二度と繰り返しません。兵器の音は二度と繰り返しません。こんな苦しみは二度と繰り返しません、と。わたしたちの時代に、わたしたちのいる世界に、平和が来ますように。神よ、あなたは約束してくださいました。

**「いつくしみとまことは出会い、正義と平和は口づけし、
まことは地から萌えいで、正義は天から注がれます。」
(詩編85. 11-12)**

主よ、急いで来てください。破壊があふれた場所に今とは違う歴史を描き実現する希望があふれますように。平和の君である主よ、来てください。わたしたちをあなたの平和の道具、あなたの平和を響かせるものとしてください。

**「わたしはいおう、わたしの兄弟、友のために。
『あなたのうちに平和があるように』」(詩編122. 8)**



教皇フランシスコ「平和のための集い」
2019年11月24日 広島記念公園にて